

フォニックスライムによる 英語発音訓練の有効性を検証する

田淵 龍二 (ミント学習教室)

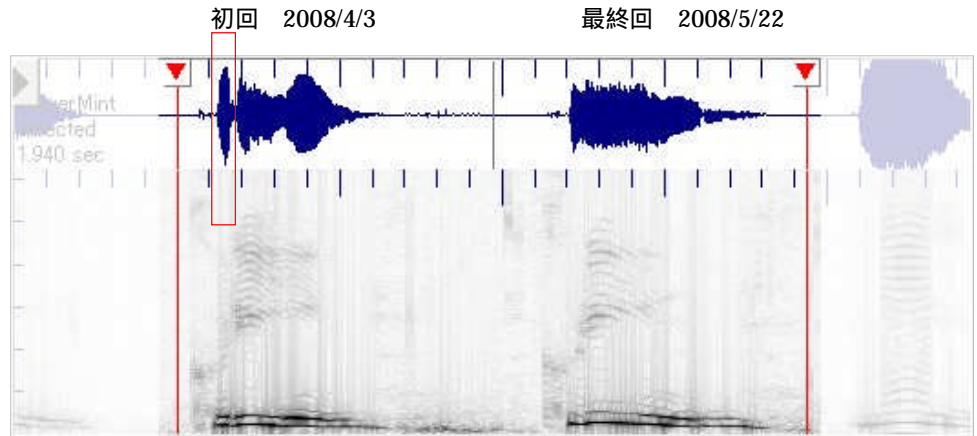
マイク キャネヴァリ (マイングリッシュ)

外国語教育メディア学会(LET) 関東支部第120回研究大会(東洋学園大学・本郷キャンパス) 2008/06/07

資料1

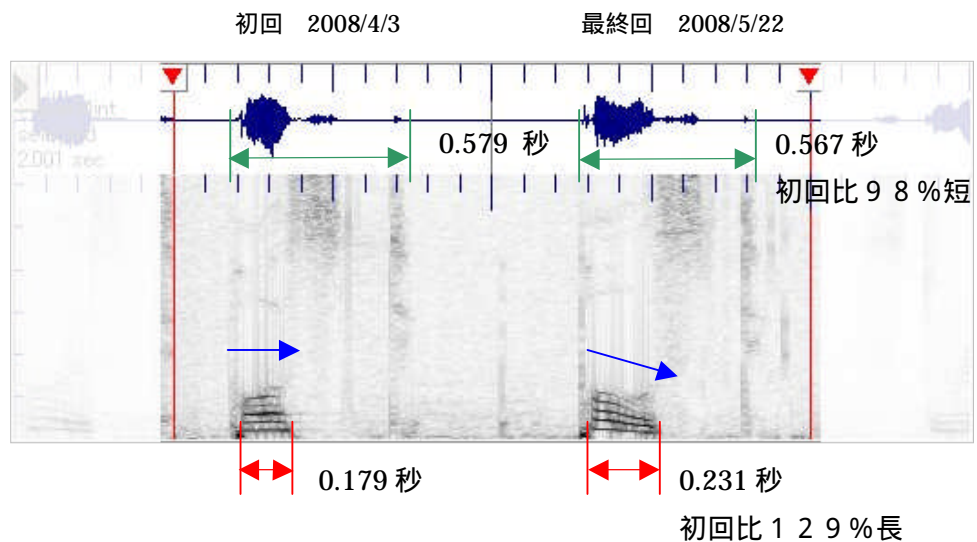
clean

語頭子音の[k](赤枠内)がはっきり母音化していたが、最終回では目立たなくなった。



post

母音 [ou] の発話時間(赤矢印)が長くなり、声紋が平坦でなくなっている(青矢印)。



総合判定

母音発話時の口の動きが大きくなり、息がしっかり出ていると読み取ることができる。

* 波形と声紋のデジタル処理はプレーヤーミントのボイストレーニングを利用

資料2 処遇実施環境

		処遇1 児童クラス	処遇2 社会人クラス
ハード	コンピュータ	ノートパソコン	ノートパソコン
	操作	ワイヤレスマウス リモコン用テンキー *1	マウスパッド
	視覚情報	天井固定プロジェクタ スクリーン	携帯プロジェクタ ホワイトボード
	音声提供	天井固定スピーカ(150w×2)*2	プロジェクタ内蔵スピーカ
ソフト	授業	週1回45分(就学前) 週1回55分(小学生)	週1回90分
	教材ユニット	movie - Boxed *3	movie - Boxed
会場		視聴覚設備を整えた教室(マイングリッシュ)	一般的な公民館の会議室

*1 通常の市販テンキーパッドをプレーヤーミント対応リモコンに転用したもの

*2 授業における音声の重要性を考慮し高性能スピーカを導入している

*3 movie - Boxed (ミントアプリケーションズ) は、教材と動作ソフトが一体となったオールインワンユニットUSB HDDで、処遇で使ったフォニックスライムは、この中に入っている。